

100年後芸術祭 環境と欲望 内房総アートフェス 開催される

市原市でこ
れまで行われ
てきた「いちほら
アート×ミック
ス」が、今回は
千葉県の150
周年記念事業と
連動し、100
年後芸術祭の一
環として開催さ
れています。3
月23日(土)
の大雪津市のク
ルクフィール
ズで行われた開
会式では、熊谷
知事はじめ、
開催5市の市長
も顔交わらせ
芸術祭によつて
多くの集客を図
り、地域の活性
化に役立てたい
と語っていました。



市原市内で行われるものには「いちほら」は付きま
せんが、アート×ミックス2024の冠が付きま
す。これまで行われてきたアート×ミックスを継承してい
ます。ただ、会場数が増えたこともあり、以前に比べ
ると入場での作品数が減った感があり、会期始めな
ので会場もまた閑散としていました。それでも地元



三小学校
などが会
場となり
ます。会
期は5月
26日ま
で、4
月30日
と5月1
日を除い
た火曜と
水曜が定
休となります。



アート×ミックス2024

地元の人間として私たちは会場の地域内に住
み、いつでも足を運ぶことができます。わざわざ
どこかに行かなくても沢山の作品を見て、作家
それぞれの思いを堪能することができます。考
えてみるととても贅沢なことかもしれません。
現代アートがわからなくても、こんなものを作
る人がいるんだ、これもアートなんだと素直に
見ていけば、作家の思いに近づけるように思
います。ぜひ足を運んでみてください。
(天曾根下・征矢里山通信員)



みんなの力で石神菜の花畑復活！



昨年春号でお伝えした通り、昨年の石神の菜の花は壊滅状態で見る影もありませんでした。いろいろな原因が言われましたが、土壌調査の専門家に調べてもらって、何年にも渡る連作障害で根こぶ病がびこり土が酸性化し、カビ菌が蔓延して種をまいても出てこないことがわかりました。そこから石神菜の花会や関係者たちの菜の花畑復活へのプロジェクトが始まりました。ぞうの糞や地元の黒湯なども使い、土壌改良を図り、養老溪谷駅寄りの線路を挟んだ両側の何面かに絞って菜の花を復活させようとしたプロジェクトでした。昨年の暮れから成長のいいことは聞いていましたが、今年見事に菜の花が満開になりました。多くの人がこぞ訪れカメラを構えたり、景観と菜の花の芳香を楽しんだり、以前のような光景も復活しています。かつて、小茶自動車さんの脇から見下ろした一面の菜の花畑とはまだいきませんが、復活の序章となりました。残されたかつて菜の花が咲いた田んぼは沢山あります。そのすべてが咲き誇れば圧倒的な景観です。初期のころのあの景観を忘れることができません。下から吹き上げる風に乗ってむせかえるような菜の花の芳香の記憶が鮮明です。今年は久保駅の前も菜の花も見事です。関わる人たちの思いや努力があつての景観であることを思わずにはられません。
(征矢里山通信員)

加茂里山通信

令和6年
春号

発行 市原商工会議所
加茂里山通信編集部
編集長 征矢貫造

加茂学園は今 学習参観・立志式

1月27日(土)に学習参観(午前)と立志式(午後)を行いました。今回の学習参観も多数の保護者の皆様が来校され、意欲的に授業に臨む加茂っ子たちの姿を見守っていました。

学校の体育館が工事のため、午後の立志式は加茂公民館に移動して行われました。生徒にとって慣れない場所での実施でしたが、7年生の生徒たちは、家族や周囲の人たちへの感謝とともに、将来の夢や希望、これからの抱負を壇上で堂々と語る事ができました。



加茂地区の20歳の集いは、多くの来賓、恩師、家族が見守るなか、厳粛な中に華やいだ雰囲気で開催されました。今年の参加者は21名。例年感じることですが、式の進行や企画にも20歳を迎えられた方たちの意見が反映されていて、それを見守るような実行委員会の皆さんの暖かい心を感じる素晴らしい式典になっていました。

卒業証書授与式 修了式
3月11日(月)に、工事を終えて照明もより明るくなった体育館にて、卒業証書授与式を行いました。愛着ある母校を巣立つ15名の卒業生を全校で祝福し、これからの健康と活躍を祈りました。また3月22日(金)には修了式が行われ、今年度の全課程が修了しました。来年度、加茂っ子のさらなる活躍が楽しみです。
(遠山里山通信員)



能田っぼりの草を刈る

穏やかに晴れて河津桜の咲く2月24日に能田っぼりの草刈がありました。この時期の草刈りはこれまでもありませんでしたが、いつものように、小湊鐵道関係者、市役所関係者、そして里山連合の関係者他ボランティアが9時までに集合し、草刈のエンジン音を響かせました。枯れた草は実は刈りづらく、又石もあるところなので普通の草刈を刈るようにはいきません。それでも90才を越えた兼岡さんが先頭に立つて刈っているの、みんなも黙々と刈つていました。その後は恒例のカレーの昼食でした。
(征矢里山通信員)

能田っぼりの草を刈る

市原商工会議所を通して石川県の馳浩知事に届けられました。会頭、副会頭たちで直接届けたいと、集をかけた義援金は、総額14,696,083円でした。
(征矢里山通信員)

能田っぼりの草を刈る

2月にずいぶん暖かい日が続いた時には春も早いかなと思えたのですが、3月になつて冷々込み、4月になってから桜が咲き始めました。おそろしく200年で一番遅い桜ですが、雨も多くなつた花冷えもあるので少し長く咲いていそう。ただ、昔がそうであったように、入学式を迎える新入生にとっては、またその親の方たちにとつても、満開の桜の下で校門をくぐることに、きつと忘れられない思い出になるのではと思います。私もそうでした。

能田っぼりの草を刈る

芸術祭が始まりました。会場にはそれぞれ地域の関わりのある団体などがあり、会場整備などに力を入れています。ボランティアのサポートである菜の花プレイヤーズも活躍しています。会場に行くといつても気になるのはその会場周りの整備の様子です。前回最

編集後記

も感心したのは旧三小学校でした。校庭はもうろろ、山際までもきれいに刈られていました。そこに人を迎える思いが現れていました。今回は月出工舎に感謝しました。前回は社のある山の上の方はまだ篠竹が残っていたのですが、今回はきれいに刈られ整備されていました。大変な作業であったと思います。でもここに、月出工舎に関わる作家サポーターの思いが強く感じられました。言ってみれば気合の入れ方というか、思いの強さが会場整備の様子からうかがい知ることができました。・千葉県を含めた関東圏でもこの地震が多くなり、能登半島地震は他人事ではありません。備えをす

編集後記



るとともに、能登の一日も早い復興を祈りたいと思います。
(征矢里山通信員)

愛車のある幸せな暮らし
応援します！
安全・安心
有限会社 全日本ロータスクラブ加盟店
小茶自動車
市原市石神227
TEL 0436-96-0482
FAX 0436-96-1293

皆様と共に歩む観光
さわやかな季節にバス釣りしよう
高滝湖観光企業組合
TEL 0436-98-1277

次回7月20日発行予定です。
情報提供 取材依頼は近頃の通信員へ。
メールでも受け付けます。
記事に関する意見、お問い合わせは左記へ。
市原商工会議所
0436(22)4305 担当 霜崎
Eメール Tsao@t-cel.or.jp

